

# 伊予市合併記念式典

— 今後、ますますの発展を祈念して —



4月1日に新市として発足した伊予市が、今後、さらに発展することを祈念して、10月9日、ウエルサンピア伊予で『伊予市合併記念式典』が行われ、国・愛媛県の関係者、県内市町の首長・議長をはじめ、伊予市議会議員など多数の方が出席しました。

オープニングとして、伊豫之<sup>いよの</sup>二名島扶桑太<sup>ふたなしまふさうたい</sup>鼓保存会による『五色爛打』の演奏が始まった式典は、まず、中村市長が「ここに至るまでには紆余曲折があったが、このように古くから深いつながりを持つ伊予市・中山町・双海町が合併できたのは、住民の皆さんによる格別のご理解とご協力の賜ものであり、厚くお礼を言いたい。今後、多様化・高度化する行政課題に対応するため、多彩な地域資源を生かしながら、住民と行政の協働を推進し進め、新市の将来像である『ひと・まち・自然が出会う郷』の実現をめざし、住んでいて良かったと思えるふるさとづくりに全力を傾注していきたい。」と式辞を述べました。

続いて、この合併推進において主導的な役割を果たされた方々、そして合併協議会委員として大変厳しい条件の中、合併協議の中核を担ってこられた方々に対し、それぞれ総務大臣表彰、市長感謝状が贈られました。

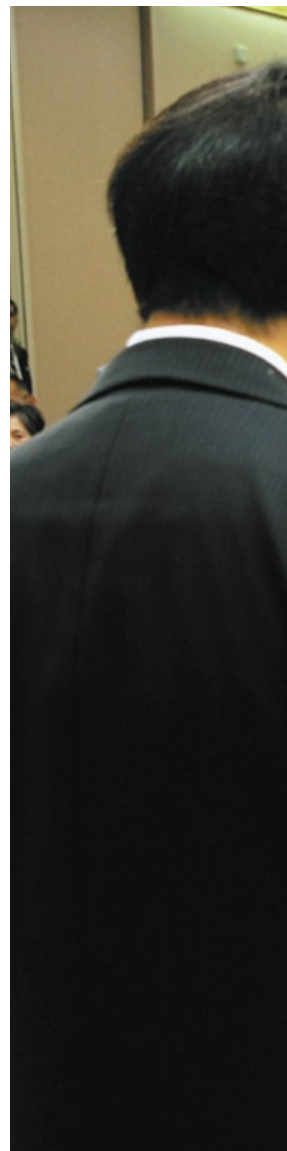
表彰された方は次のとおりです。(敬称略)

## ◆総務大臣表彰

中村佑(旧伊予市長)、市田勝久(旧中山町長)、丸山勇三(旧双海町長)、上田稔(旧双海町長)、重松罔右(旧伊予市議会議長)、井上正昭(旧中山町議会議長)、大石壽淑(旧双海町議会議長)

## ◆市長感謝状

小林茂、窪中修一、藤田稔、泉正勝、若松孝行、



# 「市の花」「市の木」決まる！

新市の市制施行を記念して、市民の皆さんのふるさと意識の高揚や、市のイメージアップを図るため、「市の花」「市の木」を7月に募集してしました。その中から検討した結果、「市の花」に『菜の花』、「市の木」に『メタセコイア』を指定し、伊予市合併記念式典で発表されました。



## 市の木「メタセコイア」



【スギ科 メタセコイア属】

数々の伝説を残し、化石になって今も語り継がれており、伊予市の記念樹（シンボル）としてふさわしいものです。伝承と記念物として、また、伊予市のオリジナリティをアピールできる木です。

## 市の花「菜の花」



【アブラナ科 アブラナ属】

一本一本は小さいけれど、一面に咲く姿は黄金を敷き詰めているようで、その光景は圧巻。春に向かって見る人に何か元気を与えてくれ、その姿は明るく伸びていく伊予市の姿をイメージできる花です。

日野正則、田中弘、岡田博助、岡田清満、西岡義雄、安田一江、亀井慎滋、高橋敏、上岡幸子、中嶋都貞、矢野鎮男、富岡喜久子（以上、伊予市・中山町・双海町合併協議会委員）